

[A類社会コース, A類現代教育実践コース環境教育プログラム, B類社会コース 対象]

日本史B 解答例

令和5年度

一般選抜前期

I (日本古代史 解答案)

問1

- a 聖武
- b 房前
- c (橘) 奈良麻呂

問2

ウ

問3

エ

問4

- (1) 施設：悲田院 役割：貧者や孤児に食事を与える等の保護・救済をした
- (2) 施設：施薬院 役割：貧困の病人を無償で治療し、薬を与えた

問5

【解答例】

藤原不比等は中臣(藤原)鎌足の地位を引き継ぎ、政治運営の中心となった。娘の光明子を聖武天皇の皇后とし、息子たち(藤原四兄弟)は不比等の後継者となった。彼らは皇親である長屋王を自害に追い込み、藤原氏中心の政治を行ったが、天平年間に流行った天然痘で全員死亡した。その後は、橘諸兄が政権をとり、吉備真備や玄昉をブレーンとして、政権を樹立した。しかし息子である橘奈良麻呂が謀反を起こし、諸兄も政界から去った。その後は、光明皇后の甥にあたる藤原仲麻呂が孝謙天皇の支持を背景に政権を掌握するが、僧道鏡の台頭により謀反を起こすに至り、敗死した。

[A類社会コース, A類現代教育実践コース環境教育プログラム, B類社会コース 対象]

日本史B 解答例

令和5年度

一般選抜前期

II (日本中世史 解答案)

問1

- a 源義経
- b 北条政子

問2

- (1)
- c 御恩
- d 奉公

(2) 所 命

問3 似絵

問4 【解答例】

信玄は源義光（新羅三郎義光）を祖とする源氏（清和源氏のうち河内源氏。のち甲斐源氏とも）であるため、同じ河内源氏であり武家の棟梁として名高い頼朝を意識していたと考えられる。

問5 【解答例】

鎌倉幕府以降の武士による政権の常態化のなかで、その創立者である頼朝に対する神格化が強まり、荒々しい武威の強調よりも、文武両道観に基づく貴族的な武士としてのイメージが定着するに至ったと考えられる。その肖像画が長い間教科書に掲載されることで、日本社会においてこの頼朝像が一般化し、他の肖像には替えがたいものとなっていった。

[A類社会コース, A類現代教育実践コース環境教育プログラム, B類社会コース 対象]

日本史B 解答例

令和5年度
一般選抜前期

III 解答例

問1 ウ

問2 ア エ

問3 a 最上徳内 b ラクスマン c レザノフ

問4 新井白石の正徳の治では、輸入超過(金銀流出)を抑えるために貿易を抑止したが、田沼意次の重商主義政策のなかでは、銅や俵物を輸出品とする積極貿易へ転じた。

問5 暦の名前 う 人物の名前 イ

問6 伊能忠敬

問7 江戸幕府は中国とオランダ以外の外国とは通商をしないという昔からの決まりがある(祖法)という主張(鎖国祖法論)をした。

問8 イギリス

問9 (外国船の船員と住民との衝突をさけるために、)薪水・食料を提供して帰国するよう促していたが、ためらうことなく撃退するように命じた。

問10

幕藩体制下の抑圧をうけながらも、独自の文化を高度に磨き上げていった様子を見ることが出来る。こうしたことから近世のアイヌ社会は、一面的に理解されるべきではなく多様なあり方を考えるべきである。

〔A類社会コース, A類現代教育実践コース環境教育プログラム, B類社会コース 対象〕

日本史B 解答例

令和5年度

一般選抜前期

解答例 IV

問1 死ぬことよりも忠節や名誉を重んじる資質

問2 ア・ウ

問3 統帥権

問4 イ→ア→エ→ウ

問5 以下の点についてふれられていればよい。

- ・転機となったできごとが具体的にあげられていること。

例) 満洲事変、政党内閣の終焉、華北分離工作、天皇機関説事件、226事件 など

- ・政党政治の崩壊など、民意を尊重する政治が否定されていく過程

問6 イ・カ

問7 東條英機

問8 天皇陛下

問9 校長が、軍人勅諭や戦陣訓の発想を押しつけ、生徒を守るどころか、天皇のために死ぬことを美化し、生徒の生命を軽視していることが、教育者としてあるまじき態度と思われたから。

問10 幣原喜重郎

問11 間接統治

沖縄（奄美諸島・小笠原など）

問12 戦局の悪化によって補給路を断たれるだけでなく、日本軍による非合理的で無理な作戦と生命軽視の発想により、「玉砕」や「集団自決」を強いられたり、マラリアにかかったり、飢餓状態のままジャングルをさまよひ、現地住民の食料を奪ったりした。

問13 以下の点などについて述べられていることが望ましい。

- ・占領政策や民主化の必要性がアメリカの読者にアピールされていること。
- ・女性参政権など女性の地位の向上が、日本女性へのプレゼントのように印象づけられていること。
- ・アメリカからの物資や文化の提供が印象づけられていること。
- ・それと対照的に、日本人男性の野蛮さが強調されていること。
- ・広告のイメージからアメリカの豊かさが伝わってくること。
- ・キャプションの「ゲイシャール」といった文言に、記者がもつ日本女性のイメージが反映されていること。